

五井地区の人口
(6月1日現在)
総数 60,826 人
男 32,165 人
女 28,661 人
世帯数 27,806 世帯

つ く し

編集：五井地区社協
総務局広報部
発行責任者：五井地区会長
西岡 紀代一
事務局：市民活動センター
電話：20-3100

平成26年度

総会開催



5月29日、五井公民館に於いて五井地区社会福祉協議会総会が開催され、理事・評議員55名が出席しました。総会では、平成25年度事業及び会計・監査報告と、平成26年度事業計画及び予算案が満場一致で承認されました。

ご挨拶

五井地区社会福祉協議会会長 西岡紀代一
皆様には、日頃より五井地区社会福祉協議会に対し、ご理解ご協力を賜りまして厚く御礼を申し上げます。

【市原市地域福祉計画】に対応しつつ、五井地区社会福祉協議会は、地域の福祉ニーズを捉えつつ、多くの方々のご協力をいただきながら活動を展開しております。

日本の将来を担う子ども達を、地域を挙げて見守りながら、就学前児童の子育てを側面で支援する取り組み、五井公民館での「子育てワン・ツー・スリー」は平成17年度からの活動で、今年10年目となり、本講座を卒業したお子さん方もすでに中学生、高校生に育っております。

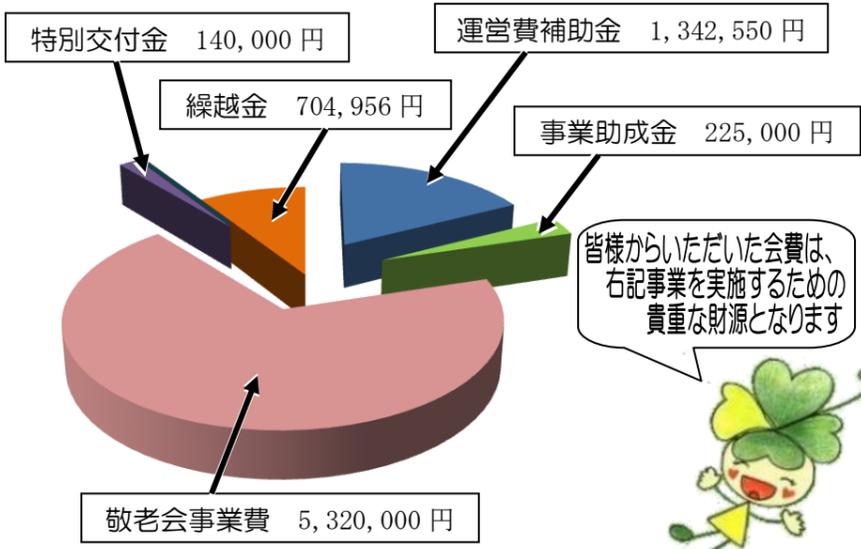
また、独居高齢者を対象に取り組んでおります「食事サービス」も大変好評のうち毎月の恒例事業として定着しております。

そして近年では「小域福祉ネットワーク」が、地域密着型福祉推進組織として「茶話会」や「高齢者の安心見守り活動」「児童生徒の通学時の安全指導」など様々な活動を展開しております。

これらの活動は、多くの献身的なボランティアの皆様によって成り立っております。今後とも、地域の皆様の温かい、ご支援、ご協力を心からお願ひ申し上げます。

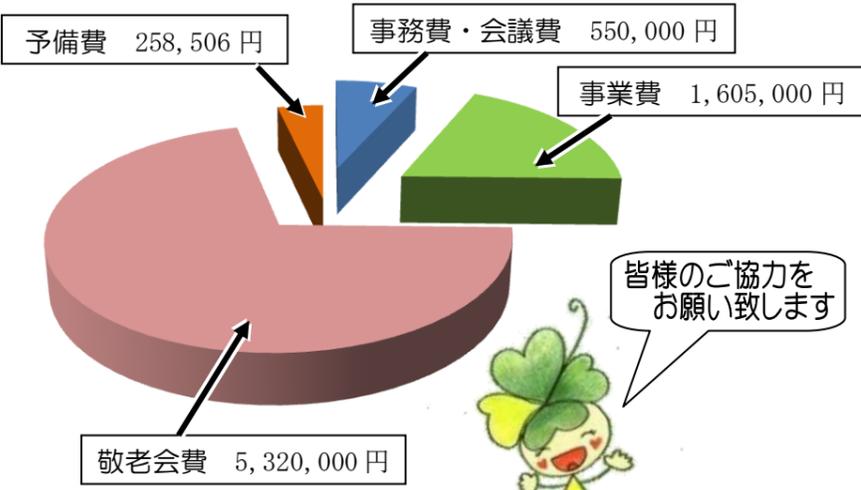
予算

収入の部 総額 7,733,506 円



会費		
一般会費	町会長の皆様のご協力により、各世帯からご協力いただいております	一口 200 円
賛助会費	特に社協事業にご賛同いただける法人・団体 個人の皆様方からご協力いただいております	一口 1,000 円
特別会費	市内の社会福祉施設や団体からご協力いただいております	一口 1,000 円

支出の部 総額 7,733,506 円



事業費内訳			単位：円
子育て支援事業	110,000	福祉団体共催事業	160,000
いきいきサロン事業	285,000	人材育成事業	50,000
高齢者健康増進事業	10,000	地域福祉まちづくり事業	50,000
支え合い助け合い事業	50,000	福祉教育活動促進事業	100,000
小域福祉NW支援費	40,000	研修費	350,000
相談支援事業	30,000	広報事業	290,000
地域福祉事業	80,000		

事業計画



お母さんと楽しく七夕飾りを作ったね

ふれあいサロン事業

- いきいきサロン（食事サービス）
毎月第2木曜日 五井公民館
[事前申し込み登録が必要です]
- 子育て会「ワン・ツー・スリー」
毎月第4月曜日 五井公民館
(就学前の乳幼児と母親対象)
[直接会場にお越し下さい]

「ワン・ツー・スリー」後の予定	月日	内容
	9/22	人形劇
	10/27	ミニ運動会
	11/17	子ども救急法
	12/15	クリスマス会
	2/23	お雛様作り
	3/23	お楽しみ会

小域福祉ネットワーク支援事業

五井地区全小学校単位での福祉ネットワークの設立を推進しています
現在5つの小域福祉ネットワークが設立され、高齢者や子ども達の見守り活動などを積極的に行っています

相談事業

いきいきサロンと子育て会で「あったか相談所五井」を開設しています

人材育成事業

地域福祉活動の新たな担い手となる人材育成に取り組んでいます

地域福祉活性化事業

地域の活性化に向けた事業を展開しています

福祉教育推進事業

「花いっぱい運動」を実施しています

広報事業

広報紙「つくし」を年2回発行します

敬老会事業推進

町会や各団体の協力を得て実施します

役員・理事

職名	氏名	選出区分
会長	西岡紀代一	学識経験者
副会長	島田 晴夫	老人クラブ第1
	嶋田 信行	町会長会
	岡田 廣高	保護司会
会計	原 和博	福祉事業関係者
理事	大野 和男	町会長会
	須丸 峯宏	
	時田 擴央	民生委員
	伊藤 尚樹	児童委員
	小林 忠正	
	小倉 政江	主任児童委員
	渡邊シヅ江	子育て支援員
	立野暉美子	更生保護女性会
	櫻井 次男	
	山川 紀雄	小域福祉ネットワーク
	小出 尚	
	川名 博之	
並木 健吾		
伊藤 隆廣	老人クラブ第2	
齋藤 正行	学校関係	
霜崎 博之	五井地区区会議	
三浦 文雄	五井公民館	
野村 裕一	趣旨賛同者	
飯島 洋子		
村山 路子		
小倉 英明	学識経験者	
監事	宮崎 明子	子育て支援員
顧問	濱田 國義	学識経験者

「地域のつながり 支援の輪」

若葉小学校学区わかば福祉ネットワーク



茶話会「サロンわかば」は月1回地域の町会施設で開催

毎回会場は、参加者の「楽しかった」「大きな声で歌って気持ちよかった」「健口体操はおもしろいね」などの声と明るい笑顔で溢れています
また、安心生活見守り訪問を実施し、お年寄りの孤立を防ぐ活動をしています

白金小学校学区スマイルネットワーク



1組のみんなをパトロールしている方々を紹介するポスターを作りました

白金小学校1年1組生活科の授業に参加しました！

五井地区小域福祉ネットワークを紹介します
各ネットワークそれぞれ特色のある活動を展開しています

小域福祉ネットワーク通信

千種小学校学区小域福祉ネットワーク



千種小・中学校校門前で「あいさつ運動」を実施

ネットワークが地域に周知されるように、千種小学校・中学校に横断幕を設置しました！

あいさつをしながらの防犯活動を展開中

東海小・中学校学区小域福祉ネットワーク



地域の方々も屋根の修理に参加

旧東海幼稚園

既に仮オープンになっている活動拠点が、7月中旬のグランドオープンに向け、最後の化粧替えに奮闘中！

活動拠点グランドオープン間近

あなたの街のトピックス 地域とともに進める白金防災教育

白金小学校学区では、君塚・白金・五所・西五所の各町会と協力して、「学校・家庭・地域とともにすすめる防災教育・訓練」を実施しています。

災害時の基本的な行動・知識を身につける取組みを、平成24年度から継続して行っています。これまでの成果として、基本行動の習得と「自助」「共助」の意識を高めることができました。

具体的には、学校・地域合同防災訓練（地震・津波）と防災教育集会の実施です。

家庭にいるときに発生した地震を想定し、地域での第一次避難、学校への第二次避難の訓練を実施。その後「津波」を想定した校舎内への避難訓練と「避難者カード」を活用した人員確認の訓練を実施しています。確認後、防災教育集会を行います。

消防署や地元消防団の協力のもと、煙道訓練、起震車体験、初期消火訓練を行ったり、防災に関するDVDを視聴したりという活動をとおして、災害時の基本行動を確認し、防災に対する意識を高めることができました。

昨年度は、白金小の3・4年生が、学区を回り「安全マップ作り」の調査を行いました。また、5・6年生が中心となり、携帯用防災行動マニュアル「白金防災宝箱」を作成し、全児童・全家庭・地域の人たちに配布しました。

また、白金小学校学区には、多くの外国の人たちが住んでいます。外国の人たちにもわかるように「白金防災宝箱」の翻訳版（英語・タガログ語・スペイン語）を作成し、必要な方にお配りしました。

各町会の皆さんも、日頃から防災に関する意識が高く、積極的に訓練に参加しています。昨年度は、総勢約880人が訓練に参加しました。

いざというときは、「ぼくだってひとりだけでいけるよ ひなばしよ」（自助）「地域のきずなが命綱」（共助）が活かされるように、日頃から繰り返しの訓練が大切です。白金小学校学区における地域との合同防災訓練は、地域のきずなも深めています。



防災訓練の様子(昨年度)

- 編集委員会**
- 小手 亨 (中谷町会長)
 - 須丸 峯宏 (十四軒町会長)
 - 飯島 洋子 (更生保護女性会)
 - 梶本 正子 (民生児童委員)
 - 村山 路子 (民生児童委員)

国府小学校学区小域福祉ネットワーク



地域みんなで見守り活動！

知っていますか？ 地名の由来(3)

※ 由来については諸説ありますが、一般的なお話をご紹介します

「飯給」

六七二年の壬申の乱に敗れて逃れてきた大友皇子を村人がかくまい、ご飯を差し上げたそうので、やがて、皇子が去るときにこの地名を残したと言われている

今世界一広いと有名です

小湊鉄道 飯給駅

「不入斗」

古代の人々が谷間に入り「入山瀬いりやませ」と称したところからついた地名。それが次第になまって「いりやませ」となったと言われています。

また昔、神社への献用地とされた土地のごときで、税の対象にならないところから「不入計(いりやませ)」と呼ばれていたという説もあるようです。

不入斗の馬乗り馬頭観音

石仏がら尽くす 木下閣

前号でご紹介した「廿五里」の由来の中で実際の距離は100kmではないと掲載しましたがこれも諸説あるそうです